

【資料 1】 医薬部外品原料規格（外原規）改正検討項目リスト

Table 1 外原規改正検討項目数

通し番号	改正内容	該当各条ほか	項目数
1～15	① 各条(確認試験, 定量法)他の改正	α -ナフトール(確認試験)(資料 2) ベンジルアルコール(確認試験)(資料 3) カンゾウ抽出末(定量法)(資料 4) ローズマリー水(確認試験)(分担研究 1) ローズマリー油(確認試験: 新規設定)(分担研究 1) ヒノキチオール(定量法)(分担研究 2) 微量元素不純物試験法の改正(分担研究 3) 他	15
16-21	② ジオキサン(有害試薬)の代替試験法への改正	新規提案(Table 2 参照)	6
22-30	③ フッ化水素酸(有害試薬)の代替試験法への改正	新規提案(Table 3 参照)	9
31-160	④ GC におけるパックドカラムからキャピラリーカラムへの改正(各条)	新規提案(Table 4 参照)	130
161-168	⑤ 各条, 一般試験法, 試薬の改正	新規提案	8
169-212	⑥ GC におけるパックドカラムからキャピラリーカラムへの改正(一般試験法の反映)	新規提案	44(④と重複あり)

Table 2 有害試薬ジオキサンを用いる各条及び改正検討項目

通し番号	共通・関連テーマ	対象分類	品目名等	項目等	外原規 2021(現行法)	新規収載又は改正案
16	改正有害試薬	各条	アセチルパントテニルエチルエーテル	純度試験(2)	吸光度 本品 5.0g にジオキサン 5mL を加えて溶かし, 層長 10mm, 波長 420nm における吸光度を測定するとき, 0.10 以下である。	有害試薬を用いる試験法の改正(溶媒をジオキサン以外のものに代替)
17	改正有害試薬	各条	安息香酸パントテニルエチルエーテル	純度試験(1)	吸光度 本品 2.5g にジオキサン 10mL を加えて溶かし, 層長 10mm, 波長 420nm における吸光度を測定するとき, 0.050 以下である。ただし, 対照液には, ジオキサンを用いる。	有害試薬を用いる試験法の改正(溶媒をジオキサン以外のものに代替)
18	改正有害試薬	各条	エストラジオール	旋光度	旋光度 $[\alpha]$: +76~+83° (乾燥後, 0.1g, ジオキサン, 10mL)	有害試薬を用いる試験法の改正(溶媒をジオキサン以外のものに代替)
19	改正有害試薬	各条	エストロン	旋光度	旋光度 $[\alpha]$: +155~+166° (乾燥後, 0.1g, ジオキサン, 10mL)	有害試薬を用いる試験法の改正(溶媒をジオキサン以外のものに代替)

20	改正 有害試薬	各条	コレステロ ール	旋光度	旋光度 $[\alpha]$: $-34 \sim -38^\circ$ (乾 燥後 0.2g, ジオキサン, 10mL)	有害試薬を用いる試験 法の改正(溶媒をジオ キサン以外のものに代 替)
21	改正 有害試薬	各条	ジヘプタデ シルケトン	確認試験 (1)	本品 0.1g にジオキサン5mL を 加えて溶かし, これを試料溶液と する。試料溶液1mL に水酸化ナ トリウム試液1mL を加え, 水浴 上でわずかに加温し, 0.5mol/L ヨウ素試液2～3滴を滴加すると き, 直ちに黄色の沈殿を生じる。	有害試薬を用いる試験 法の改正(溶媒をジオ キサン以外のものに代 替)

Table 3 有害試薬フッ化水素酸を用いる各条及び改正検討項目

通し 番号	共通・関 連テーマ	対象 分類	品目名等	項目等	外原規 2021(現行法)	新規収載又は改正案
22	改正 有害試薬	各条	ケイ酸マグ ネシウム	定量法(1)	…残留物を水で潤す。つい でフッ化水素酸6mL 及び硫酸 3滴を加え, 蒸発乾固した後, 5分間強熱する。…	有害試薬を用いる試験 法の改正(溶媒をフッ 化水素酸以外のものに 代替もしくは試験法の 変更)
23	改正 有害試薬	各条	酸化チタン ゾル	定量法	本品約5g を精密に白金皿に 量り, 薄めた硫酸(1→2)10mL とフッ化水素酸 20mL を 加 え, 水浴上で硫酸の白煙が生 じるまで加熱する。	有害試薬を用いる試験 法の改正(溶媒をフッ 化水素酸以外のものに 代替もしくは試験法の 変更)
24	改正 有害試薬	各条	酸化チタン・ 無水ケイ酸 複合物	定量法(1) 酸化チタン	本品を乾燥し, その約 0.5g を 白金皿に精密に量り, 薄めた 硫酸(1→2) 10mL 及びフッ 化水素酸 10mL を加え, 硫酸 の白煙を生じるまで加熱する。 冷後, フッ化水素酸 10mL を 加えた後, …	有害試薬を用いる試験 法の改正(溶媒をフッ 化水素酸以外のものに 代替もしくは試験法の 変更)
25	改正 有害試薬	各条	酸化チタン・ 無水ケイ酸 複合物	定量法(2) 二酸化ケイ 素	本品を乾燥し, その約1g を質 量既知の白金皿に精密に量 り, 薄めた硫 酸(1→2)10mL 及びフッ化水素酸 10mL を加 え, 硫酸の白煙を生じるまで加 熱する。冷 後, フッ化水素酸 10mL を加え, …	有害試薬を用いる試験 法の改正(溶媒をフッ 化水素酸以外のものに 代替もしくは試験法の 変更)
26	改正 有害試薬	各条	マグネシア・ シリカ	定量法(1) 二酸化ケイ 素	…残留物を水で潤し, 次い で, フッ化水素酸6mL 及び硫 酸3滴を加え, 蒸発乾固した 後, 恒量になるまで強熱する。	有害試薬を用いる試験 法の改正(溶媒をフッ 化水素酸以外のものに 代替もしくは試験法の 変更)
27	改正 有害試薬	各条	マグネシア・ シリカ	定量法(2) 酸化マグネ シウム	本品約1g を白金るつぼに精 密に量り, 硫酸1mL 及びフッ 化水素酸6mL を加えて, 砂浴 上で蒸発乾固し, 更に 10 分 間強熱する。	有害試薬を用いる試験 法の改正(溶媒をフッ 化水素酸以外のものに 代替もしくは試験法の 変更)
28	改正 有害試薬	各条	無水ケイ酸 被覆酸化 (鉄・チタン) ゾル	定量法	本品約2g を白金皿に精密に 量り, 薄めた硫酸(1→2)10mL 及びフッ化水素酸 20mL を加 え, 400℃の砂浴上で白煙が発 生するまで加熱する。	有害試薬を用いる試験 法の改正(溶媒をフッ 化水素酸以外のものに 代替もしくは試験法の 変更)

29	改正 有害試薬	各条	メチルシロ キサン網状 重合体	純度試験 (1) 重金属	本品 1.0g を白金るつぽにとり、薄めた硫酸(1→2)0.5mL 及びフッ化水素酸 5mL を加え、・・・	有害試薬を用いる試験法の改正(溶媒をフッ化水素酸以外のものに代替もしくは試験法の変更)
30	改正 有害試薬	各条	メチルシロ キサン網状 重合体	純度試験 (2) ヒ素	本品 1.0g を白金るつぽにとり、硝酸5mL、フッ化水素酸 10mL 及び硫酸3mL を加え、ゆるくふたをして砂浴上で加熱し、溶解、分解した後、白煙が生じなくなるまで注意して加熱する。必要ならば、冷後、硝酸5mL、フッ化水素酸 10mL を加え、再度加熱し、白煙が生じなくなるまで注意して加熱する。	有害試薬を用いる試験法の改正(溶媒をフッ化水素酸以外のものに代替もしくは試験法の変更)

Table 4 パックドカラムを用いる各条及び改正検討項目

現在ではガスクロマトグラフィー (GC) のカラムはキャピラリーカラムが主流であるため、現行法のパックドカラムからキャピラリーカラムによる試験法の変更を検討する。それに伴い、ガス流量なども変更を行う。さらに、キャリアーガスにヘリウムや水素を追加することについても検討を行う。

通し番号	対象分類	品目名等	項目等	外原規 2021(現行法)
31	一般試験法	アクリロニトリル試験法	操作法	カラム:内径3mm,長さ1m のガラス管に 180~250 μ m のステレン・ジビニルベンゼン系 ポーラスポリマーを充填する。 キャリアーガス及び流量:窒素, 毎分約 30mL 付近の一定量
32	一般試験法	アルコール数測定法	第2法 ガスクロマトグラフィー (3)操作法	カラム:内径約3mm,長さ約 1.5m のガラス管に 150~180 μ m のガスクロマトグラフィー 用多孔性エチルビニルベンゼン・ジビニルベンゼン共重合体(平均孔径 0.0075 μ m, 500~600m ² /g)を充填する。 キャリアーガス:窒素
33	一般試験法	液化ガス試験法	(6)定量法	カラム:内径3mm,長さ6~10m の管にマレイン酸ジ n-ブチル, β, β' -オキシジプロピオ ニトリル混合物もしくはマレイン酸ジ n-ブチル, 炭酸プロピレン混合物を 35%含浸させた 180~250 μ m のガスクロマトグラフィー用耐火レンガ又はガスクロマトグラフィー用 ケイソウ土を充填する。 流量:毎分 20~40mL の間の一定量
34	一般試験法	高級アルコール試験法	操作法 第2法	カラム:内径3mm,長さ1~3m の管にガスクロマトグラフィー用メチルシリコーンを 180 ~250 μ m のガスクロマトグラフィー用ケイソウ土に 10%の割合で被覆したものを充填する。 キャリアーガス及び流量:窒素, 毎分 30mL 付近の一定量
35	一般試験法	脂肪酸試験法	操作法 第2法	カラム:内径3mm,長さ2~3m の管にジエチレングリコールサクシネート(DEGS)を 180~250 μ m のガスクロマトグラフィー用ケイソウ土に 10~20%の割合で被覆したものを充填する。 キャリアーガス及び流量:窒素, 毎分 60mL 付近の一定量
36	一般試験法	シリコーン試験法	操作法 第2法	カラム:内径3mm,長さ1~3m のカラムにガスクロマトグラフィー用メチルシリコーン を含浸させた 150~180 μ m のガスクロマトグラフィー用ケイソウ土を充填する。 キャリアーガス及び流量:ヘリウム, 毎分 30~50mL 付近の一定量

37	一般試験法	ステロイド試験法	操作法第2法	カラム:内径3~4mm,長さ2~2.5mのカラムに3%のガスクロマトグラフィー用メチル シリコーンを含浸させた 180~250 μ m のガスクロマトグラフィー用ケイソウ土を詰める. キャリアーガス及び流量:窒素, 毎分 40mL 付近の一定量
38	一般試験法	多価アルコール試験法	操作法第2法	カラム:内径3mm,長さ1~3mの管にガスクロマトグラフィー用ポリエステルに 180~250 μ m のシラン処理したガスクロマトグラフィー用ケイソウ土に5%の割合で被覆したものを充填する. キャリアーガス及び流量:窒素, 毎分 30mL 付近の一定量
39	一般試験法	ポリオキシアルキレンアルキルエーテル試験法	操作法第2法	カラム:内径3mm,長さ1mの管にガスクロマトグラフィー用ポリメチルシロキサンを 80~100 μ m のガスクロマトグラフィー用ケイソウ土に2~5%の割合で被覆したものを充填する. キャリアーガス:窒素 流量:毎分 40mL 付近の一定量
40	一般試験法	陽イオン界面活性剤試験法	操作法第2法	カラム:内径3mm,長さ2mのガラス管にガスクロマトグラフィー用メチルシリコーンを 180~250 μ m のガスクロマトグラフィー用ケイソウ土に5%の割合で被覆したものを充填 する. キャリアーガス及び流量:窒素, 毎分 30mL 付近の一定量
41	各条	アクリルアミド・アクリル酸・塩化ジメチルジアリルアンモニウム共重合体液	純度試験(2) アクリル酸モノマー	カラム:内径2mm,長さ1.8mのガラス管にガスクロマトグラフィー用ポリエチレングリコールを 180~250 μ m のガスクロマトグラフィー用ケイソウ土に4%の割合で 被覆したものを充填する. キャリアーガス及び流量:ヘリウム, 毎分 30mL の一定流量
42	各条	アクリル酸アルキル・メタクリル酸アルキル・メタクリル酸ポリオキシエチレンステアリルエーテル(20E. O.)共重合体エマルション	純度試験(3) アクリル酸類縁物質	カラム:内径3mm,長さ2mのガラス管に, ガスクロマトグラフィー用メチルシリコーンを酸洗浄処理した 180~250 μ m のガスクロマトグラフィー用ケイソウ土に5%の割合で被覆したものを充填する. キャリアーガス並びに流量:窒素, 毎分 10mL 付近の一定量
43	各条	アセチルリシノレイン酸ラノリンアルコールエステル	確認試験(2) リシノレイン酸	カラム:内径3~4mm,長さ1mのカラムに5%フェニルメチルシリコーンを含浸させた 150~180 μ m のガスクロマトグラフィー用ケイソウ土を充填する. キャリアーガス並びに流量:窒素, 毎分 17.5mL の一定量
44	各条	イソステアリルペンタエリスリルグリセリルエーテル	確認試験(2) 1-エイコサノール	カラム:内径 2.6mm,長さ 50cm のガラス管にガスクロマトグラフィー用メチルフェ ニルシリコーンを 150~180 μ m のガスクロマトグラフィー用ケイソウ土に1%の割合で被覆したものを充填する.
45	各条	イソブタン	定量法	カラム:内径3mm,長さ6mのカラムにフタル酸ジオクチルを 170~250 μ m のガスクロマトグラフィー用ケイソウ土に 25%の割合で被覆処理したものを充填する.
46	各条	イソペンタン	定量法	カラム:内径3mm,長さ6mのカラムにフタル酸ジオクチルを 170~250 μ m のガスクロマトグラフィー用ケイソウ土に 25%の割合で被覆処理したものを充填する.
47	各条	塩化アルキルトリメチルアンモニウム	確認試験(4) 塩化ステアリルトリメチルアンモニウム	カラム:内径3mm,長さ2mの管にガスクロマトグラフィー用メチルシリコーンを 180~250 μ m のガスクロマトグラフィー用ケイソウ土に5%の割合で被覆したものを 充填する. キャリアーガス及び流速:窒素, 毎分 30mL 付近の一定量で塩化ステアリルトリメチル アンモニウムの主ピークが, 9~11分後に現れるように調整する.
48	各条	塩化ジメチルジアリルアンモニウム・アクリルアミド共重合体	純度試験(2)アクリルアミド	カラム:内径3mm,長さ 0.5m のガラス管にガスクロマトグラフィー用ポリエチレン グリコール 20M を 180~250 μ m の酸アルカリ及びシラン処理をほどこしたガスクロマトグラフィー用ケイソウ土に約5%の割合で被覆したものを充填する. キャリヤーガス及び流量:窒素, 毎分約 60mL の一定量

49	各条	塩化ジメチルジアル ルアンモニウム・ア クリルアミド共重合 体液	純度試験 (2) アクリルアミ ド	カラム:内径3mm,長さ0.5mのガラス管にガスクロマトグラ フィー用ポリエチレン グリコール 20M を 180~250 μ m の酸 アルカリ及びシラン処理をほどこしたガスクロ マトグラフィー 用ケイソウ土に約5%の割合で被覆したものを充填する. キャリアーガス及び流量:窒素, 毎分約 60mL の一定量
50	各条	塩化ジメチルジアル ルアンモニウム・ア クリル酸共重合体 液	純度試験 (1) アクリル酸 モノマー	カラム:内径2mm,長さ約 1.8m のガラス管にガスクロマトグラ フィー用ポリエチレ ングリコール 20M を 180~250 μ m の ガスクロマトグラフィー用グラファイトカーボ ンブラックに4%の 割合で被覆したものを充填する. キャリアーガス及び流量:ヘリウム, 毎分 30mL 付近の一定 量
51	各条	塩化セチルトリメチ ルアンモニウム	確認試験 (4) 塩化ステア リルトリメチ ルアンモニ ウム	カラム:内径3mm,長さ2m の管にガスクロマトグラフィー用メ チルシリコンを 180~250 μ m のガスクロマトグラフィー用ケ イソウ土に5%の割合で被覆したものを 充填する. キャリアーガス及び流速:窒素, 毎分 30mL 付近の一定量で 塩化ステアリルトリメチル アンモニウムの主ピークが, 9~11 分後に現れるように調整する.
52	各条	塩化N-[2-ヒド ロキシ-3-(トリメ チルアンモニオ)プ ロピル]加水分解コ ラーゲン液	純度試験 (4) エピクロルヒ ドリン	カラム:内径3~4mm,長さ1m の管にガスクロマトグラフィー 用ポリエチレングリ コール 20M を 180~250 μ m のガスクロ マトグラフィー用ケイソウ土に 10%の割合 で被覆したものを 充填する. キャリアーガス及び流量:窒素, エピクロルヒドリンの保持時 間が4分になるように窒素の流量を調節する.
53	各条	塩化O-[2-ヒド ロキシ-3-(トリメ チルアンモニオ)プ ロピル]デキストラ ン	純度試験 (4) エピクロルヒ ドリン	カラム:内径3mm,長さ 1.6m の管にガスクロマトグラフィー 用ポリエチレングリコ ール 20M を 180~250 μ m のガスクロ マトグラフィー用ケイソウ土に 10%の割合で 被覆したものを 充填する. キャリアーガス及び流量:窒素, エピクロルヒドリンの保持時 間が4分になるように窒 素の流量を調節する.
54	各条	塩化ビニル樹脂	純度試験 (4) 塩化ビニル モノマー	カラム:長さ3m の管にメチルフェニルポリシロキサンを 150 ~180 μ m のガスクロマ トグラフィー用ケイソウ土に 20%の割 合で被覆したものを充填する. キャリアーガス及び流量:ヘリウム, 毎分 30mL 付近の一定 量
55	各条	塩化ラウリルトリメ チルアンモニウム 液	確認試験 (4) 塩化ラウリ ルトリメチル アンモニウ ム	カラム:内径3mm,長さ2m の管にガスクロマトグラフィー用メ チルシリコンを 180~250 μ m のガスクロマトグラフィー用ケ イソウ土に5%の割合で被覆したものを 充填する. キャリアーガス及び流速:窒素, 毎分 30mL 付近の一定量で 塩化ステアリルトリメチル アンモニウムの主ピークが, 9~11 分後に現れるように調整する.
56	各条	オクチルトリメトキ シシラン被覆酸化 チタン	純度試験 (1) メタノール	カラム:内径約3mm,長さ約2m のガラス管に粒径 180~ 300 μ m のエチルビニルベ ンゼン・ジビニルベンゼン系ポーラ スポリマーを充填する. キャリアーガス及び流量:ヘリウム, 毎分 30mL 付近の一定 量
57	各条	オレイン酸	確認試験 オレイン酸	カラム:内径 3.0mm,長さ3m のガラス管にポリジエチレング リコールサクシネートを 150~180 μ m のガスクロマトグラフィ ー用ケイソウ土に 15%の割合で被覆処理したものを充填す る. キャリアーガス及び流量:窒素, 毎分 30mL の一定量
58	各条	オレンジ油	確認試験 リモネン	カラム:内径3mm,長さ1m のガラス管にシラン処理した 180 ~250 μ m のガスクロマト グラフィー用ケイソウ土にガスクロ マトグラフィー用ポリエチレングリコール 20M を 10%の割合 で被覆させたものを充填する. キャリアーガス:窒素

59	各条	カプリン酸ジエタノールアミド	確認試験 (3) カプリル酸?	カラム:内径2~3mm,長さ1~3mの管にガスクロマトグラフィー用コハク酸ジエチレングリコールポリエステルを180~250(又は150~180) μ mのシラン処理したガスクロマトグラフィー用ケイソウ土に10~20%の割合で被覆したものを充填する. キャリアーガス及び流量:窒素,毎分50mL付近の一定量
60	各条	d-カンフル	定量法	カラム:内径3mm,長さ3mのガラス管に,ガスクロマトグラフィー用ポリエチレングリコール20Mをシラン処理した180~250 μ mのガスクロマトグラフィー用ケイソウ土に10%の割合で被覆したものを充填する. キャリアーガス:窒素
61	各条	dl-カンフル	定量法	カラム:内径3mm,長さ3mのガラス管に,ガスクロマトグラフィー用ポリエチレングリコール20Mをシラン処理した180~250 μ mのガスクロマトグラフィー用ケイソウ土に10%の割合で被覆したものを充填する. キャリアーガス:窒素
62	各条	牛脂脂肪酸	確認試験	カラム:内径3.0mm,長さ3mのガラス管にジエチレングリコールサクシネートを150~180 μ mのガスクロマトグラフィー用ケイソウ土担体に15%の割合で被覆処理したものを充填する. キャリアーガス及び流量:窒素,毎分約30mL付近の一定量
63	各条	合成スクワラン	確認試験 (2) スクワラン	カラム:内径3mm,長さ2mの管にフェニルメチルシリコーンを180~250 μ mのシラン処理したガスクロマトグラフィー用ケイソウ土に5%割合で被覆したものを充填する. キャリアーガス並びに流量:窒素,毎分50mL付近の一定量
64	各条	コハク酸ジ(カプリル/カプリン酸)グリセリル	確認試験 (1) カプリル酸 カプリン酸	カラム:内径3~4mm,長さ1mの管にガスクロマトグラフィー用メチルシリコーンを150~180 μ mのガスクロマトグラフィー用ケイソウ土に15%の割合で被覆したものを充填する. キャリアーガス及び流量:窒素,毎分約40mLの一定量
65	各条	コメ発酵液	定量法(2)	カラム:内径3mm,長さ2mのガラス管にポリエチレングリコール1000を125~170 μ mのガスクロマトグラフィー用ケイソウ土に10%の割合で被覆処理したものを充填する.キャリアーガス及び流量:窒素,毎分30mL付近の一定量
66	各条	混合脂肪酸モノエタノールアミド	確認試験 (2)	カラム:内径3mm,長さ1.5mの管にコハク酸ジエチレングリコールを150~180 μ mのシラン処理したガスクロマトグラフィー用ケイソウ土に2%の割合で含浸させたものを充填する. キャリアーガス並びに流量:窒素,毎分40mL付近の一定量
67	各条	サッカリン	純度試験 (6) オルトトルエンスルホンアミド	カラム:内径3~4mm,長さ1mの管に,担体として180~250 μ mのガスクロマトグラフィー用ケイソウ土を用い,担体に対して,ガスクロマトグラフィー用コハク酸ジエチレングリコールポリエステルを3%含むようにガスクロマトグラフィー用コハク酸ジエチレングリコールポリエステルのクロロホルム溶液を加えた後,クロロホルムを蒸発し,乾燥したものを充填する. キャリアーガス及び流量:窒素,カフェインの保持時間が約6分になるように調整する.
68	各条	サッカリンナトリウム	純度試験 (7) オルトトルエンスルホンアミド	カラム:内径3~4mm,長さ1mの管に,担体として180~250 μ mのガスクロマトグラフィー用ケイソウ土を用い,担体に対して,ガスクロマトグラフィー用コハク酸ジエチレングリコールポリエステルを3%含むようにガスクロマトグラフィー用コハク酸ジエチレングリコールポリエステルのクロロホルム溶液を加えた後,クロロホルムを蒸発し,乾燥したものを充填する. キャリアーガス及び流量:窒素,カフェインの保持時間が約6分になるように調整する.
69	各条	サフラワー油脂肪酸	確認試験 (2) リノール酸	カラム:内径3mm,長さ2mのステンレス管にコハク酸ジエチレングリコールを180~250 μ mのガスクロマトグラフィー用ケイソウ土に15%の割合で被覆したものを充填する. キャリアーガス及び流量:窒素,毎分50mL付近の一定量

70	各条	ジエチレングリコールモノエチルエーテル	確認試験 ジエチレングリコールモノエチルエーテル	カラム:内径3mm,長さ1.5m のガラス管に遊離脂肪酸ポリエチレングリコールを 100 ~140 μ m のジメチルジクロロシラン処理したケイソウ土に 15%の割合で被覆したものを充填する. キャリアーガス及び流量:窒素, 毎分 30mL 付近の一定量
71	各条	ジパラメトキシケイ皮酸モノ2-エチルヘキサン酸グリセリル	定量法	カラム:内径3mm,長さ50cm,ガラス管にメチルポリシロキサンで処理したケイソウ土担体を充填する. キャリアーガス及び流量:窒素, 毎分 60mL 付近の一定量
72	各条	ジメチルエーテル	純度試験 (3) メタノール	カラム:内径3mm,長さ5m のカラムに,ガスクロマトグラフィー用ポリエチレングリコール 20M を 180~250 μ m のガスクロマトグラフィー用ケイソウ土に 20%の割合で被覆したものを充填する. キャリアーガス及び流量:窒素, 毎分 30mL 付近の一定量
73	各条	ジメチルオクタン酸オクチルドデシル	定量法	カラム:内径3mm,長さ2m のガラス製カラムにフェニルメチルシリコーン(フェニル 含量 50%)を 180~250 μ m のガスクロマトグラフィー用ケイソウ土に3%の割合で被覆したものを充填する. キャリアーガス及び流量:ヘリウム, 毎分 20mL 付近の一定量
74	各条	ジメチルシロキサン・メチル(ウンデシルグリセリルエーテル)シロキサン共重合体	純度試験 (3) ウンデセノール及びウンデセニルグリシジルエーテル	カラム:内径3mm,長さ1m のガラス管に3%ジメチルシリコーンを被覆した粒径 150 ~180 μ m のガスクロマトグラフィー用ケイソウ土を充填する.
75	各条	N, N-ジメチル-N-ラウロイル-D-レリジン	確認試験 (2) ラウリン酸	カラム:内径3~4mm,長さ2m の管に,シアノプロピルシリコーンポリマーを 180 ~250 μ m のガスクロマトグラフィー用ケイソウ土に5%の割合で被覆したものを充填する. キャリアーガス及び流量:窒素, 毎分 50mL 付近の一定量
76	各条	ジメトキシベンジリデンジオキソイミダゾリジンプロピオン酸2-エチルヘキシル	純度試験 (7) メタノール	カラム:内径3mm,長さ1m のガラス管に粒径 180~250 μ m のスチレン・ジビニルベンゼン系ポラスポリマーを充填する. キャリアーガス及び流量:窒素, 毎分 30mL 付近の一定流量
77	各条	臭化セチルトリメチルアンモニウム液	確認試験 (4) ステアリルトリメチルアンモニウム	カラム:内径3mm,長さ2m の管にガスクロマトグラフィー用メチルシリコーンを 180~250 μ m のガスクロマトグラフィー用ケイソウ土に5%の割合で被覆したものを充填する. キャリアーガス及び流速:窒素, 毎分 30mL 付近の一定量で塩化ステアリルトリメチルアンモニウムの主ピークが, 9~11分後に現れるように調整する.
78	各条	臭化セチルトリメチルアンモニウム末	確認試験 (4) ステアリルトリメチルアンモニウム	カラム:内径3mm,長さ2m の管にガスクロマトグラフィー用メチルシリコーンを 180~250 μ m のガスクロマトグラフィー用ケイソウ土に5%の割合で被覆したものを充填する. キャリアーガス及び流速:窒素, 毎分 30mL 付近の一定量で塩化ステアリルトリメチルアンモニウムの主ピークが, 9~11分後に現れるように調整する.
79	各条	蒸留ハッカ水	確認試験 メントール	カラム:内径3mm,長さ2m の管にガスクロマトグラフィー用ポリエチレングリコール ニトロテレフタル酸エステルを,酸で洗った 150~180 μ m のガスクロマトグラフィー用ケイソウ土に5%の割合で被覆させたものを充填する. キャリアーガス及び流量:窒素, 毎分 50mL 付近の一定量
80	各条	植物性スクワラン	確認試験 スクワラン	カラム:内径約3mm,長さ2m の管にメチルフェニルシリコーンを 180~250 μ m のシラン処理をしたガスクロマトグラフィー用ケイソウ土に5%の割合で被覆したものを充填する. キャリアーガス及び流量:窒素, 毎分 50mL 付近の一定量

81	各条	ステアリン酸コレステリル	確認試験 (2)ステアリン酸	カラム:内径2～3mm,長さ1～3mの管にジシアノプロピルシリコーンポリマーを酸で洗い,ジメチルクロロシラン処理をした180～250 μ mのガスクロマトグラフィー用ケイソウ土に5%の割合で被覆したものを充填する.キャリアーガス及び流量:窒素,毎分60mL付近の一定量
82	各条	ステアリン酸ジエタノールアミド	確認試験 (3)ステアリン酸	カラム:内径2～3mm,長さ1～3mの管にガスクロマトグラフィー用コハク酸ジエチレングリコールポリエステルを180～250 μ m(又は150～180 μ m)のシラン処理をしたガスクロマトグラフィー用ケイソウ土に10～20%の割合で被覆したものを充填する. キャリアーガス及び流量:窒素,毎分50mL付近の一定量
83	各条	ステアリン酸モノエタノールアミド	確認試験 (3)ステアリン酸	カラム:内径2～3mm,長さ1～3mの管にガスクロマトグラフィー用コハク酸ジエチレングリコールポリエステルを180～250 μ m(又は150～180 μ m)のシラン処理をしたガスクロマトグラフィー用ケイソウ土に10～20%の割合で被覆したものを充填する. キャリアーガス及び流量:窒素,毎分50mL付近の一定量
84	各条	N-ステアロイル-L-グルタミン酸	確認試験 (2)ステアリン酸	カラム:内径3～4mm,長さ2mの管にガスクロマトグラフィー用シアノプロピルシリコーンを100～200 μ mのシラン処理したガスクロマトグラフィー用ケイソウ土に10%の割合で被覆させたものを充填する. キャリアーガス及び流量:窒素,毎分60mL付近の一定量
85	各条	N-ステアロイル-L-グルタミン酸カリウム	確認試験 (3)ステアリン酸	カラム:内径3～4mm,長さ2mの管にガスクロマトグラフィー用シアノプロピルシリコーンを100～200 μ mのシラン処理したガスクロマトグラフィー用ケイソウ土に10%の割合で被覆させたものを充填する. キャリアーガス及び流量:窒素,毎分60mL付近の一定量
86	各条	N-ステアロイル-L-グルタミン酸ナトリウム	確認試験 (3)ステアリン酸	カラム:内径3mm,長さ2～3mの管にガスクロマトグラフィー用コハク酸ジエチレングリコールポリエステルを180～250 μ mのガスクロマトグラフィー用ケイソウ土に10～20%の割合で被覆したものを充填する. キャリアーガス及び流量:窒素,毎分60mL付近の一定量
87	各条	N-ステアロイル-L-グルタミン酸二ナトリウム	確認試験 (2)ステアリン酸	カラム:内径3～4mm,長さ2mの管にガスクロマトグラフィー用シアノプロピルシリコーンを100～200 μ mのシラン処理したガスクロマトグラフィー用ケイソウ土に10%の割合で被覆したものを充填する. キャリアーガス及び流量:窒素,毎分60mL付近の一定量
88	各条	セージ水	確認試験 セージエキス	カラム:内径約3mm,長さ約2mのガラス管に,ガスクロマトグラフィー用ポリメチルシロキサンを180～250 μ mのガスクロマトグラフィー用シリカゲルに3%の割合で被覆したものを充填する. キャリアーガス及び流量:窒素,毎分30mL付近の一定量
89	各条	セージ油	確認試験 dl-カンファ- ー,ツヨン, α -ピネン	カラム:内径3mm,長さ2mの管にガスクロマトグラフィー用遊離脂肪酸ポリエステルを,酸で洗いジメチルシランで処理した150～180 μ mのガスクロマトグラフィー用ケイソウ土に5%の割合で被覆したものを充填する. キャリアーガス及び流量:窒素,毎分50mL付近の一定量
90	各条	セスキステアリン酸ソルビタン	確認試験 (3)ステアリン酸	カラム:内径2～3mm,長さ1～3mの管にガスクロマトグラフィー用コハク酸ジエチレングリコールポリエステルを180～250 μ m(又は150～180 μ m)のシラン処理をしたガスクロマトグラフィー用ケイソウ土に10～20%の割合で被覆したものを充填する. キャリアーガス及び流量:窒素,毎分50mL付近の一定量
91	各条	側鎖高級アルコール(C32～C36)混合物	確認試験 (2)	カラム:内径3mm,長さ2mの管にガスクロマトグラフィー用ポリエチレングリコールニトロテレフタル酸エステルを,酸で洗った150～180 μ mのガスクロマトグラフィー用ケイソウ土に5%の割合で被覆させたものを充填する. キャリアーガス及び流量:窒素,毎分50mL付近の一定量

92	各条	窒素	定量法	カラム:内径3mm,長さ3mの管に250~350 μ mのガスクロマトグラフィー用ゼオライト(孔径0.5 μ m)を充填する. キャリアーガス:水素
93	各条	N-(テトラデシロキシヒドロキシプロピル)-N-ヒドロキシエチルデカナミド	確認試験 (2) カプリン酸 1-ヨウ化テトラデシル	カラム:内径3mm,長さ1mのガラス管にガスクロマトグラフィー用メチルシリコーンを150~180 μ mの酸処理及びシリコーン処理したガスクロマトグラフィー用ケイソウ土に3%の割合で被覆したものを充填する. カラム温度:150℃で3分間保持後,毎分10℃の速度で250℃まで昇温し,更に250℃で5分間保持する. キャリアーガス及び流量:ヘリウム,毎分50mL付近の一定量
94	各条	テトラデセン	確認試験 1-テトラデセン	カラム:内径3.0mm,長さ1mのガラス管にジメチルシリコーンを140~170 μ mの酸及びジメチルクロロシラン処理したガスクロマトグラフィー用ケイソウ土に被覆したものを充填する. キャリアーガス及び流量:ヘリウム,毎分60mL付近の一定量
95	各条	テトラミリスチン酸 ペンタエリトリット	確認試験 (1) ミリスチン酸	カラム:内径3mm,長さ2mのステンレス管にコハク酸ジエチレングリコールを180~250 μ mのガスクロマトグラフィー用ケイソウ土に10%の割合で被覆処理したものを充填する. キャリアーガス及び流量:窒素,毎分60mL付近の一定量
96	各条	テルミナリアエキス	純度試験 (3) メタノール	カラム:内径2mm,長さ2.5mのガラス管にポリブテンを2.5%含浸させた180~250 μ mの活性炭を充填する. カラム温度:70℃→200℃(毎分2℃で昇温する) キャリアーガス及び流量:ヘリウム,毎分40mL付近の一定量
97	各条	テレピン油	確認試験 リモネン テルピノーレン β -カリオフィレン	カラム:内径3mm,長さ2.1mの管にガスクロマトグラフィー用テレフタル酸修飾架橋型ポリエチレングリコールを150~180 μ mの酸処理及びシリコーン処理したガスクロマトグラフィー用ケイソウ土に5%の割合で被覆したものを充填する. キャリアーガス及び流量:ヘリウム,毎分24mL付近の一定量
98	各条	デンプン・アクリル酸ナトリウムグラフト重合体	純度試験 (3)アクリル酸	カラム:内径2.3mm,長さ1mのステンレス管に,150~180 μ mのガスクロマトグラフィー用ポーラスポリマーを充填する. キャリアーガス及び流量:窒素,毎分30mL付近の一定量
99	各条	トウヒ油	定量法 d-リモネン	カラム:内径3mm,長さ2.25mの管にガスクロマトグラフィー用遊離脂肪酸ポリエステル(FFAP)を酸で洗い,ジメチルクロロシラン処理した150~180 μ mのガスクロマトグラフィー用ケイソウ土に5%の割合で被覆したものを充填する. キャリアーガス及び流量:ヘリウム,毎分22.5mL付近の一定量
100	各条	d- δ -トコフェロール	定量法 (2) d- δ -トコフェロール	カラム:内径4mm,長さ約2.4mのガラス管にガスクロマトグラフィー用ポリメチルシロキサンを125~150 μ mのガスクロマトグラフィー用ケイソウ土に5%の割合で被覆したものを充填する. キャリアーガス:窒素
101	各条	ノバラ油	確認試験 ゲラニオール シトロネロール	カラム:内径3mm,長さ2.1mの管にガスクロマトグラフィー用テレフタル酸修飾架橋型ポリエチレングリコールを150~180 μ mの酸処理及びシリコーン処理したガスクロマトグラフィー用ケイソウ土に5%の割合で被覆したものを充填する. キャリアーガス及び流量:ヘリウム,毎分24mL付近の一定量

102	各条	パラメキシケイ皮 酸イソプロピル・ジ イソプロピルケイ皮 酸エステル混合物	定量法	カラム:内径3mm,長さ3m のガラス管にフタル酸ポリアルキ レングリコールを 150～ 180 μ m の酸洗いしたジメチルクロロ シラン処理ガスクロマトグラフィー用ケイソウ土 担体に5%の 割合で被覆したものを充填する. キャリアーガス及び流量:窒素, 毎分 60mL 付近の一定量
103	各条	パルミチン酸	確認試験 パルミチン 酸	カラム:内径 3.0mm,長さ3m のガラス管にポリジエチレング リコールサクシネートを 150～180 μ m のガスクロマトグラフ ィー用ケイソウ土に 15%の割合で被覆処理したも のを充填す る. キャリアーガス及び流量:窒素, 毎分 30mL 付近の一定量
104	各条	ビスボロール	定量法	カラム:内径3mm,長さ2m のカラムに 10%ガスクロマトグラ フィー用ポリエチレング リコール 20M を含浸させた 180～ 250 μ m のガスクロマトグラフィー用ケイソウ土を充 填する. キャリアーガス及び流量:窒素, 毎分 40mL 付近の一定量
105	各条	ヒドロキシステアリ ン酸コレステリル	純度試験 (1) コレステロー ル	カラム:内径3mm,長さ 0.5m の管に,メチルフェニルシリコ ーンを 150～180 μ m の ガスクロマトグラフィー用ケイソウ土 に被覆したものを充填する. キャリアーガス並びに流量:窒素, 毎分 120mL 付近の一定 量
106	各条	フィステロール	確認試験 (3) コレステロー ルを基準	カラム:内径3～4mm,長さ2～2.5m のカラムに 1.5%のガス クロマトグラフィー用 メチルシリコーンを含浸させた 180～ 250 μ m のガスクロマトグラフィー用ケイソウ 土を充填する. キャリアーガス及び流速:窒素, 毎分 30mL 付近の一定量
107	各条	ブッチャーブルーム エキス(2)	純度試験 (3) メタノール	カラム:内径2mm,長さ 2.5m のガラス管にポリブテンを 2.5% 含浸させた 180～250 μ m の活性炭を充填する. キャリアーガス及び流量:ヘリウム, 毎分 40mL 付近の一定 量
108	各条	ブドウ水	確認試験 酢酸3ーメ チルブチル	カラム:内径 3.0mm,長さ2m の管に 180～250 μ m の2,6ー ジフェニルーpーフェニレ ンオキシドのポリマービーズを充填 する. キャリアーガス及び流量:窒素, 毎分 50mL 付近の一定量
109	各条	プラセンタエキス (5)	純度試験 (3) ホルモン	カラム:内径3mm,長さ2m のガラス管にガスクロマトグラフ ィー用ジメチルシリコー ンを 100～200 μ m のガスクロマトグラ フィー用ケイソウ土に 1.5%の割合で被覆したも のを充填す る. キャリアーガス:窒素 流量:毎分 50mL の一定量
110	各条	Nー(ヘキサデシロ キシヒドロキシプロ ピル)ーNーヒドロ キシエチルデカナミ ド	確認試験 (2) カプリン酸 1ーヨウ化 ヘキサデシ ル	カラム:内径3mm,長さ1m のガラス管にガスクロマトグラフ ィー用メチルシリコー ンを含浸させた 150～180 μ m の酸処理 及びシリコーン処理したガスクロマトグラフ ィー用ケイソウ土 に3%の割合で被覆したものを充填する. キャリアーガス及び流量:ヘリウム, 毎分 50mL の一定量
111	各条	Nー(ヘキサデシロ キシヒドロキシプロ ピル)ーNーヒドロ キシエチルヘキサ デカナミド	確認試験 (2) パルミチン 酸1ーヨウ 化ヘキサデ シル	カラム:内径3mm,長さ1m のガラス管にガスクロマトグラフ ィー用メチルシリコー ンを含浸させた 150～180 μ m の酸処理 及びシリコーン処理したガスクロマトグラフ ィー用ケイソウ土 に3%の割合で被覆したものを充填する. キャリアーガス及び流量:ヘリウム, 毎分 50mL の一定量
112	各条	ヘキシレングリコー ル	純度試験 (1) 類縁物質	カラム:内径3mm,長さ1m の管に,ガスクロマトグラフィー用 ポリエチレングリコ ール 20M を,酸で洗いジメチルクロロシ ラン処理をした 150～180 μ m のガスクロマ トグラフィー用ケ イソウ土に 20%の割合で被覆したものを充填する. キャリアーガス及び流量:ヘリウム, 毎分約 30mL の一定量

113	各条	ベヘニン酸	確認試験	カラム:内径 3.0mm, 長さ3m のステンレス管にポリジエチレングリコールサクシネート を 150~180 μ m のガスクロマトグラフィー用ケイソウ土に 15%の割合で被覆処理したものを充填する. キャリアーガス及び流量:窒素, 毎分 30mL 付近の一定量
114	各条	ベンジルオキシエタノール	確認試験 (2) ベンジルアルコールを基準	カラム:内径 2.6mm, 長さ2m のガラスカラムに 140~180 μ m の酸及びジメチルクロロシラン処理したガスクロマトグラフィー用ケイソウ土に5%の割合でニトロテレフタル酸ポリエチレングリコールを被覆したものを充填する. キャリアーガス及び流量:ヘリウム, 毎分 60mL 付近の一定流量. ただし, ベンジルアルコールの保持時間が約7分となるように調整する.
115	各条	n-ペンタン	定量法	カラム:内径3~4mm, 長さ 2.0m のカラムに 150~180 μ m のガスクロマトグラフィー用 ポリスチレン-ジビニルベンゼン共重合体からなるポーラスポリマー(タイプ Q)を充填 する. キャリアーガス及び流速:ヘリウム, 毎分 30mL 付近の一定量
116	各条	ボダイジュ水	確認試験 ファルネソール	カラム:内径 3.0mm, 長さ2m の管にジメチルシリコンゴムをシラン処理をした 180 ~250 μ m のケイソウ土に2%の割合で被覆したものを充填する. キャリアーガス及び流量:窒素, 毎分 40mL 付近の一定量
117	各条	没食子酸オクチル	確認試験 (3) オクタノール	カラム:内径4mm, 長さ 1.5m のステンレス管に, ケイソウ土担体(酸及びアルカリ 処理後, トリメチルシリル化したもの.)にガスクロマトグラフィー用ポリエチレン グリコール 20M と2-ニトロテレフタル酸のエステル系液相を 10%塗布したガスクロマトグラフィー用充填剤を充填する. 流量:毎分 60mL 付近の一定量
118	各条	ポリアミドエピクロロヒドリン樹脂	純度試験 (3) エピクロロヒドリン	カラム:内径3~4mm, 長さ1m の管にガスクロマトグラフィー用ポリエチレングリコール 20M を 180~250 μ m のガスクロマトグラフィー用ケイソウ土に 10%の割合で 被覆させたものを充填する. キャリアーガス及び流量:窒素, エピクロロヒドリンの保持時間が約4分になるように 流量を調節する.
119	各条	ポリアミドエピクロロヒドリン樹脂液 (1)	純度試験 (3) エピクロロヒドリン	カラム:内径3~4mm, 長さ1m の管にガスクロマトグラフィー用ポリエチレングリコール 20M を 180~250 μ m のガスクロマトグラフィー用ケイソウ土に 10%の割合で 被覆させたものを充填する. キャリアーガス及び流量:窒素, エピクロロヒドリンの保持時間が約4分になるように 流量を調節する.
120	各条	ポリアミドエピクロロヒドリン樹脂液 (2)	純度試験 (3) エピクロロヒドリン	カラム:内径3~4mm, 長さ1m の管にガスクロマトグラフィー用ポリエチレングリコール 20M を 180~250 μ m のガスクロマトグラフィー用ケイソウ土に 10%の割合で 被覆させたものを充填する. キャリアーガス及び流量:窒素, エピクロロヒドリンの保持時間が約4分になるように 流量を調節する.
121	各条	ポリオキシエチレン硬化ヒマシ油コハク酸(50E. O.)	確認試験 (4) コハク酸	カラム:内径3mm, 長さ 0.5m, ガラス管にコハク酸ジエチレングリコールで処理したガスクロマトグラフィー用ケイソウ土を充填する. キャリアーガス及び流速:窒素, 毎分 50mL 付近の一定流量
122	各条	ポリオキシエチレン硬化ヒマシ油コハク酸(50E. O.)	確認試験 (5) コハク酸	カラム:内径3mm, 長さ 0.5m, ガラス管にメチルポリシロキサンで処理したガスクロマトグラフィー用ケイソウ土を充填する. キャリアーガス及び流速:窒素, 毎分 60mL 付近の一定流量
123	各条	ポリオキシエチレンセトステアリルヒドロキシミリスチレンエーテル	確認試験 (2) セタノールステアリルアルコール	カラム:内径3mm, 長さ 2.0m のカラムにガスクロマトグラフィー用メチルフェニル シリコンを粒径 180~250 μ m のガスクロマトグラフィー用ケイソウ土に2%の割合で被覆したものを充填する. キャリアーガス及び流量:窒素, 毎分 30mL 付近の一定量

124	各条	ポリオキシブチレン ポリグリセリンモノ ステアリルエーテル	純度試験 (1) テトラヒドロ フラン	カラム:内径3mm,長さ2mの管に,ポリエチレングリコール 6000を250~500 μ mのテレフタル酸に10%の割合で被覆し たものを充填する. キャリアーガス及び流量:窒素,毎分15mL付近の一定量
125	各条	ポリオキシプロピレ ンカルボキシア ルキル(14~18)ジ グルコシド	確認試験 (3)	カラム:内径3mm,長さ2mの管にガスクロマトグラフィー用メ チルシリコーンを150~180 μ mのガスクロマトグラフィー用ケ イソウ土に3%の割合で被覆したもの を充填する. キャリアーガス及び流量:ヘリウム,毎分60mL付近の一定 量
126	各条	ポリオキシプロピレ ンヤシ油脂肪酸モ ノイソプロパノール アミド(1P.O.)	確認試験 (3) ラウリン酸 ミリスチン酸	カラム:内径3mm,長さ2mのガラス管にガスクロマトグラフィー 用コハク酸ジエチレングリコールポリエステルを180~ 250 μ mのガスクロマトグラフィー用ケイソウ土に10~20%の 割合で被覆したものを充填する. キャリアーガス:窒素,流量:毎分30mLの一定量
127	各条	ポリメタクリル酸メ チル・ポリエステル 積層末(2)	純度試験 (2) メタクリル酸 メチル	カラム:内径3mm,長さ3mのガラス製カラムにフェニルメチ ルシリコーン(フェニル含量50%)を酸で洗いジメチルクロロ シラン処理をした150~180 μ mのガスクロマトグラフィー用 ケイソウ土に20%の割合で被覆したものを充填する. キャリアーガス及び流量:窒素,60mL/min付近の一定量
128	各条	dl-ボルネオール	定量法	カラム:内径2mm,長さ4mの管にポリエチレングリコール (350)ニトロテレフタル酸をシラン処理した180~250 μ mの ガスクロマトグラフィー用ケイソウ土に10%の割合で被覆し たものを充填する. キャリアーガス及び流量:窒素,毎分25mL付近の一定量
129	各条	マリアアザミエキス	純度試験 (3) アセトン	カラム:内径2mm,長さ2.5mのガラス管にポリブテンを280 ~250 μ mのガスクロマトグラフィー用活性炭に2.5%の割合 で被覆処理したものを充填する. キャリアーガス及び流量:ヘリウム,毎分40mL付近の一定 量
130	各条	マロニエエキス・シ ステロール・大豆 リン脂質混合物	純度試験 (3) メタノール	カラム:内径2mm,長さ2.5mのガラス管にポリブテンを2.5% 含浸させた180~250 μ mの活性炭を充填する. キャリアーガス及び流量:ヘリウム,毎分40mL付近の一定 量
131	各条	ミリスチン酸	確認試験 ミリスチン酸	カラム:内径3.0mm,長さ3mのガラス管にポリジエチレング リコールサクシネートを150~180 μ mのガスクロマトグラフィー 用ケイソウ土に15%の割合で被覆したものを充填する. キャリアーガス及び流量:窒素,毎分30mL付近の一定量
132	各条	ミリスチン酸ラフィ ノース	確認試験ミ リスチン酸	カラム:内径3mm,長さ2~3mの管にジエチレングリコール サクシネートを180~250 μ mのガスクロマトグラフィー用ケ イソウ土に10~20%の割合で被覆したものを充填する.キャ リヤーガス及び流量:窒素,毎分約60mL付近の一定量
133	各条	N-ミリストイルー ル-グルタミン酸	確認試験 (2) ミリスチン酸	カラム:内径3~4mm,長さ2mの管にガスクロマトグラフィー 用シアノプロピルシリコーンを100~200 μ mのシラン処理し たガスクロマトグラフィー用ケイソウ土に10%の割合で被覆処 理したものを充填する. キャリアーガス及び流量:窒素,毎分60mL付近の一定量
134	各条	N-ミリストイルー ル-グルタミン酸カリ ウム	確認試験 (2) ミリスチン酸	カラム:内径3~4mm,長さ2mの管にガスクロマトグラフィー 用シアノプロピルシリコーンを100~200 μ mのシラン処理し たガスクロマトグラフィー用ケイソウ土に10%の割合で被覆処 理したものを充填する. キャリアーガス及び流量:窒素,毎分60mL付近の一定量
135	各条	N-ミリストイルー ル-グルタミン酸ナト リウム	確認試験 (3) ミリスチン酸	カラム:内径3mm,長さ2~3mの管にガスクロマトグラフィー 用コハク酸ジエチレングリコールポリエステルを180~ 250 μ mのガスクロマトグラフィー用ケイソウ土に10~20%の 割合で被覆したものを充填する. キャリアーガス及び流量:窒素,毎分60mL付近の一定量

136	各条	無水マルトース	定量法	カラム:内径3mm,長さ2mのカラムに,メチルシリコーン:メチルフェニルシリコーン(1:1)のものを酸洗い後,ジメチルジクロロシランで処理した140~180 μ mの白色ケイソウ土に2%の割合で被覆させたものを充填する. キャリアーガス及び流量:窒素,毎分35mL付近の一定量
137	各条	N-メチルピロリドン	確認試験 (2) N-メチルピロリドン	カラム:内径2.6mm,長さ2.1mの管にガスクロマトグラフィー用ポリエチレングリコール20Mを180~250 μ mのガスクロマトグラフィー用ケイソウ土に20%の割合で被覆したものを充填する. キャリアーガス及び流量:窒素,毎分40mL付近の一定量
138	各条	メトキシ β -シクロデキストリン液	純度試験 (1) ジメチル硫酸	カラム:内径2.6mm,長さ2mのガラス管に,ジエチレングリコールサクシネートを150~180 μ mの酸処理後トリメチルシラン処理を行ったガスクロマトグラフィー用ケイソウ土に1.5%の割合で被覆したものを充填する. キャリアーガス及び流量:ヘリウム,毎分30mL付近の一定量
139	各条	1-メンチルグリセリルエーテル	定量法	カラム:内径3mm,長さ1mのガラス管にメチルシリコーンポリマーを180~250 μ mのガスクロマトグラフィー用ケイソウ土に2%の割合で被覆処理したものを充填する. キャリアーガス:窒素
140	各条	ヤシ油脂肪酸	確認試験 ラウリン酸	カラム:内径3mm,長さ3mのガラス管にジエチレングリコールサクシネートを150~180 μ mのガスクロマトグラフィー用ケイソウ土に15%の割合で被覆処理したものを充填する. キャリアーガス及び流量:窒素,毎分30mL付近の一定量
141	各条	N-ヤシ油脂肪酸 アシル-L-グルタミン酸	確認試験 (2) ラウリン酸	カラム:内径3~4mm,長さ2mの管にガスクロマトグラフィー用シアノプロピルシリコーンを100~200 μ mのシラン処理したガスクロマトグラフィー用ケイソウ土に10%の割合で被覆したものを充填する. キャリアーガス及び流量:窒素,毎分60mL付近の一定量
142	各条	N-ヤシ油脂肪酸 アシル-L-グルタミン酸カリウム	確認試験 (2) ラウリン酸	カラム:内径3~4mm,長さ2mの管にガスクロマトグラフィー用シアノプロピルシリコーンを100~200 μ mのシラン処理したガスクロマトグラフィー用ケイソウ土に10%の割合で被覆させたものを充填する. キャリアーガス及び流量:窒素,毎分60mL付近の一定量
143	各条	N-ヤシ油脂肪酸 アシル-L-グルタミン酸トリエタノールアミン液	確認試験 (2) ラウリン酸	カラム:内径3~4mm,長さ2mの管にガスクロマトグラフィー用シアノプロピルシリコーンを100~200 μ mのシラン処理したガスクロマトグラフィー用ケイソウ土に10%の割合で被覆したものを充填する. キャリアーガス及び流量:窒素,毎分60mL付近の一定量
144	各条	ヤシ油脂肪酸加水 分解ケラチンカリウム液	確認試験 (3) ラウリン酸 ミリスチン酸	カラム:内径2~5mm,長さ2~3mの管に,ガスクロマトグラフィー用コハク酸ジエチレングリコールポリエステルを180~250 μ mのガスクロマトグラフィー用ケイソウ土に,10~20%の割合で被覆したものを充填する. キャリアーガス及び流量:窒素,毎分30mLの一定量
145	各条	ヤシ油脂肪酸加水 分解酵母たん白カリウム	確認試験 (3) ラウリン酸 ミリスチン酸	カラム:内径2~5mm,長さ2~3mの管に180~250 μ mのガスクロマトグラフィー用ケイソウ土に10~20%の割合でガスクロマトグラフィー用コハク酸ジエチレングリコールポリエステルを被覆したものを充填する. キャリアーガス及び流量:窒素,毎分30mL付近の一定量
146	各条	ヤシ油脂肪酸加水 分解コムギたん白カリウム液	確認試験 (3) ラウリン酸 ミリスチン酸	カラム:内径2~5mm,長さ2~3mの管に180~250 μ mのガスクロマトグラフィー用ケイソウ土に10~20%の割合でガスクロマトグラフィー用コハク酸ジエチレングリコールポリエステルを被覆したものを充填する. キャリアーガス及び流量:窒素,毎分30mL付近の一定量

147	各条	ヤシ油脂肪酸加水 分解ジャガイモたん 白カリウム	確認試験 (3) ラウリン酸 ミリスチン酸	カラム:内径2～5mm,長さ2～3mの管に,ガスクロマトグラ フィー用コハク酸ジ エチレングリコールポリエステルを,180 ～250 μ mのガスクロマトグラフィー用ケイ ソウ土に 10～20% の割合で被覆したものを充填する. キャリアーガス及び流量:窒素, 毎分 30mL 付近の一定量
148	各条	ヤシ油脂肪酸加水 分解トウモロコシたん 白カリウム	確認試験 (3)ラウリン 酸ミリスチン 酸	カラム:内径2～5mm,長さ2～3mの管に,ガスクロマトグラ フィー用コハク酸ジ エチレングリコールポリエステルを,180 ～250 μ mのガスクロマトグラフィー用ケイ ソウ土に 10～20% の割合で被覆したものを充填する. キャリヤーガス及び流量: 窒素, 毎分 30mL 付近の一定量
149	各条	N-ヤシ油脂肪酸 ／硬化牛脂脂肪酸 アシル- γ -グルタ ミン酸ナトリウム	確認試験 (2)ラウリン 酸ステアリ ン酸	カラム:内径3～4mm,長さ2mの管にガスクロマトグラフィー 用シアノプロピルシ リコーンを 100～200 μ mのシラン処理し たガスクロマトグラフィー用ケイソウ土に 10%の割合で被覆し たものを充填する. キャリヤーガス及び流量:窒素, 毎分 60mL 付近の一定量
150	各条	油性性プラセンタエ キス	純度試験 (3) ホルモン	カラム:内径 2.6mm,長さ2mのガラス管にガスクロマトグラ フィー用ジメチルシリコ ーンを 150～180 μ mの酸及びシラン 処理したガスクロマトグラフィー用ケイソウ土に 1.5%の割合で 被覆したものを充填する. キャリアーガス:窒素流量:毎分 40mL 付近の一定量
151	各条	ラウリン酸	確認試験	カラム:内径 3.0mm,長さ3mのガラス管にポリジエチレング リコールサクシネートを 150～180 μ mのガスクロマトグラフィ ー用ケイソウ土に 15%の割合で被覆処理したものを充填す る. キャリアーガス及び流量:窒素, 毎分 30mL 付近の一定量
152	各条	ラウリン酸ミリスチ ン酸トリエタノール アミン	確認試験 (3) ラウリン酸 ミリスチン酸	カラム:内径3～4mm,長さ3mのガラス管にコハク酸ジエチ レングリコールを 150 ～180 μ mのガスクロマトグラフィー用 ケイソウ土に 20%の割合で被覆したものを充 填する. キャリアーガス及び流量:ヘリウム, 毎分 50mL 付近の一定 量
153	各条	ラウロイル加水分 解コラーゲンカリウ ム	確認試験 (3) ラウリン酸	カラム:内径2～5mm,長さ1～3mの管に,150～180 μ m又 は 180～250 μ mのガ スクロマトグラフィー用ケイソウ土に, 10～20%の割合でガスクロマトグラフィー用 コハク酸ジエチレ ングリコールポリエステルを被覆処理したものを充填する. キャリアーガス及び流量:窒素, 毎分 30mL 付近の一定量
154	各条	N-ラウロイル- γ - グルタミン酸	確認試験 (2) ラウリン酸	カラム:内径3～4mm,長さ2mの管にガスクロマトグラフィー 用シアノプロピルシ リコーンを 100～200 μ mのシラン処理し たガスクロマトグラフィー用ケイソウ土に 10%の割合で被覆さ せたものを充填する. キャリアーガス及び流量:窒素, 毎分 60mL 付近の一定量
155	各条	N-ラウロイル- γ - グルタミン酸カリ ウム	確認試験 (2) ラウリン酸	カラム:内径3～4mm,長さ2mの管にガスクロマトグラフィー 用シアノプロピルシ リコーンを 100～200 μ mのシラン処理し たガスクロマトグラフィー用ケイソウ土に 10%の割合で被覆さ れたものを充填する. キャリアーガス及び流量:窒素, 毎分 60mL 付近の一定量
156	各条	N-ラウロイル- γ - グルタミン酸ナト リウム	確認試験 (3) ラウリン酸	カラム:内径3mm,長さ2～3mの管にガスクロマトグラフィー 用コハク酸ジエチレ ングリコールポリエステルを 180～ 250 μ mのガスクロマトグラフィー用ケイソウ土 に 10～20%の 割合で被覆したものを充填する. キャリアーガス及び流量:窒素, 毎分 60mL 付近の一定量
157	各条	リシノレイン酸ヘキ サグリセリル	確認試験 (2) リシノレイン 酸	カラム:内径3～4mm,長さ 1.0mのカラムにガスクロマトグラ フィー用シアノプロ ピルシリコーンを 120～140 μ mのシラン 処理したガスクロマトグラフィー用ケイソ ウ土に 10%の割合 で被服したものを充填する. キャリアーガス及び流量:窒素, 毎分 10mL の一定量

158	各条	リノール酸	確認試験	カラム:内径 3.0mm, 長さ3m のガラス管にジエチレングリコールサクシネートを 150 ~180μm のガスクロマトグラフィー用ケイソウ土担体に 15%の割合で被覆処理したものを充填する. キャリアーガス及び流量:窒素, 毎分約 30mL 付近の一定量
159	各条	リンゴ水	確認試験 リンゴ果汁	カラム:内径 3.0mm, 長さ2m のガラス管にガスクロマトグラフィー用ポリエチレングリコールを酸処理した 150~180μm のガスクロマトグラフィー用ケイソウ土に 10%の割合で被覆したものを充填する. キャリアーガス及び流量:窒素, 毎分 20mL 付近の一定量
160	各条	ローズ水	確認試験 2-フェニル エタノール ゲラニオール	カラム:内径3mm, 長さ2m のガラス管にガスクロマトグラフィー用ポリエチレングリコールニトロテレフタル酸エステルを, 酸で洗った 150~180μm のガスクロマトグラフィー用ケイソウ土に5%の割合で被覆したものを充填する. キャリアーガス及び流量:窒素, 毎分 50mL 付近の一定量

